



令和3年度 画像保存セミナー

日本写真学会画像保存セミナーは1984年の第1回から数えて38回目を迎えます。当初の「画像保存」は、既に「もの」として存在する写真画像の保存や修復に関することや製品としての銀塩写真自体の耐久性を向上させることを主な対象としていました。その後、デジタルイメージングの台頭とシフトによって、写真を取り巻く状況は一変しました。ものとしての写真画像も写真誕生以来の様々なプロセスに、デジタルイメージをプリンターで出力したプリントが加わり、プリンターの性能、さらにはデジタルデータを記録するフォーマットや媒体自体の保存性など、保存に関わる要素は多岐にわたるようになりました。そして、その画像の有用性が意識されなければ保存すること自体にたどり着けないことから、画像の運用方法などを含め、新たな形での活用についても考えていくことの重要性が増してきました。

本セミナーでもこの広い範囲をカバーし、より多くの方々に画像保存の意義や方法などをお知らせし、共に考えていけるように努力していきたいと考えています。

今年もオンラインによる開催ですが、個々の講演の後には質疑応答の時間を設けます。また、講演後にも参加者の質問を受け付け、後日、講演者にお答えいただいた内容を共有できる形にします。また昨年同様、参加者がセミナー当日視聴できなかった場合に備え、後日アーカイブ配信にて視聴できるようにしております。画像保存に関心のある方、関連分野の多くの方々のご参加を賜りたく、案内申し上げます。

主 催：一般社団法人 日本写真学会 画像保存セミナー実行委員会

日 時：2021年11月19日（金）9時55分～16時15分

オンライン開催（プログラム記載の時間に事前収録の講演動画を配信）

□質疑応答は、各講演時間内に於いて、動画再生終了時刻からWeb会議ツール（Zoom）で行います。

□アーカイブ配信 視聴可能期間（限定配信）

2021年11月20日（土）～12月17日（金）

協 賛：日本写真芸術学会／公益財団法人日本博物館協会

公益社団法人日本写真家協会／文化遺産国際協力コンソーシアム

日本アーカイブス学会／情報保存研究会

一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会／一般社団法人画像電子学会

一般社団法人日本印刷学会／一般社団法人日本画像学会

アート・ドキュメンテーション学会

協 力：東京都写真美術館

後 援：一般社団法人文化財保存修復学会

セミナープログラム

9:55 開会挨拶 セミナー実行委員長

10:00 講演 1. 銀塩カラー印画紙の技術史—画像保存性の観点で—

11:00

フジフィルムスクエア 梅本真

現在の形の銀塩カラー印画紙は、第2次世界大戦中に欧米で開発されたのが始まりである。その後、日・米・欧の各社により、色再現・迅速処理性・画像保存性などの観点で開発が行われた。本セミナーでは、主に画像保存性に関連する技術開発の歴史について解説する。

11:05 講演 2. 深層学習による白黒写真の自動カラー化

12:05

筑波大学システム情報系/人工知能科学センター 飯塚里志

本講演では、深層学習を用いて白黒写真や白黒映像を高精度でカラー化する技術について紹介する。ここでは、本技術の基本的な仕組みから、クロード・モネの半損作品のカラー修復など具体的な応用事例まで解説し、その問題点などについて考察する。

13:00 講演 3. 日常の記録と記憶—オーストリアにおけるホームムービー収集の事例を中心に

14:00

獨協大学 常石史子

8mm等のホームムービーは、映画フィルム保存活動において近年とみに重要性を増している。本講演では、オーストリアで行なわれているホームムービーの収集およびデジタルアーカイブ構築の事例を中心に、フィルムに残された記録と記憶をいかにして未来に引き継ぐかにつき考察する。

14:05 講演 4. 紙資料をデジタル化する際の入力装置（スキャナ、デジタルカメラ）の特性、特徴

15:05

株式会社インフォマージュ 綿引雅俊

現在でも使われている紙のビジネス文書や、過去に作成された様々な形態の資料など、紙資料のデジタル化について、身近なビジネスでの効率よい手法、必要とされる品質、保存方法も踏まえつつ、入力装置の特性、特徴を中心に説明する。

15:10 講演 5. 写真プリントの画像保存性評価法に関する ISO/TC42 の標準化状況と LED 光源下での光褪色評価法の検討

16:10

富士フィルムホールディングス株式会社 石塚弘

写真プリントの画像保存性評価について、ISO/TC42における標準化状況と、標準を活用した最近の各種プリントの評価結果を紹介する。特に近年照明の主力となってきたLED光源下でのプリント耐光性については、当社で検討した評価法とその結果を報告する。

16:10 閉会挨拶 日本写真学会会長

セミナー参加費

(当日、動画視聴と質疑応答への参加、後日、アーカイブ配信による動画視聴が可能)

日本写真学会および協賛学協会々員	6,000 円
非会員	8,000 円
学 生	2,000 円

*アーカイブ配信のみの参加費も同額となります。

(日本写真学会の賛助会員所属で非個人会員の方の取り扱いに関しては、賛助会費の口数に応じた人数枠に対して申し込み順に会員扱いとなります。枠を超えた分は非会員扱いとなります。会員枠が残っているかどうかにつきましては、ご面倒でも事務局にお問い合わせ下さい。)

セミナー／オンライン質疑 申込締切 2021年11月12日(金)

アーカイブ配信の参加申込締切 2021年11月26日(金)

アーカイブ配信は、録画配信講演申込の方とアーカイブ配信に申し込まれた方が視聴出来ます。

参加申し込みについて

日本写真学会ホームページ <https://www.spij.jp/> トップページの「イベント」より「令和3年度画像保存セミナー」に明記されている **Peatix** にてお申し込みならびに参加費をお支払いください。その後、参加費入金確認を行い、参加登録が完了となります。

連絡先 (一社)日本写真学会事務局 〒164-8678 中野区本町 2-9-5 東京工芸大学内
E-mail : info@spij.jp Tel : 03-3373-0724 Fax:03-3299-5887

日本写真学会の行動規範に基づく、オンライン大会等での遵守事項

- *参加登録後通知されるオンライン大会に参加するためのシステムの URL は、参加登録した本人のみで使用して下さい。URL は、他人に教えたり、SNS 等で公開したりしないでください。
- *参加者が取得したデータは、参加者本人の利用に限り、データの取り扱いには細心の注意を払い、オンライン画面を、スクリーンショットでむやみに取り込まない。又、これらのデータを不特定多数に流布しない様にして下さい。著作権の問題を含みますのでご遠慮願います。

日本写真学会にご入会下さい

この機会に、会員でない皆様には当学会に入会されることをおすすめします。
セミナー当日、受付に入会申込書がありますので、ご記入の上お申し込み下さい。
また、学会 HP (下記 URL) から申し込みます。

年会費： 正会員 8,500 円 学生 3,000 円

一般社団法人 日本写真学会 事務局
〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5
東京工芸大学内
Tel. 03-3373-0724 Fax. 03-3299-5887
URL <https://www.spij.jp/>

このセミナーは、下記の組織で企画されました。

一般社団法人 日本写真学会

会 長：中野 寧 副会長；加藤 隆志 山田 勝実

画像保存セミナー実行委員会

委員長： 大林 賢太郎 (京都芸術大学)

委 員： 大関 勝久 (名古屋大学) 白岩 洋子 (白岩修復工房)

清野 晶宏 (IMAGICA エンタテインメントメディアサービス)

水口 淳 (カメラ・写真技術解説家) 山口 孝子 (東京都写真美術館)

山野 泰照 (写真家・写真技術研究家)

吉田 英明 (OMデジタルソリューションズ)

綿引 雅俊 (インフォマーチュ)

(五十音順)